ビジョン 6000

メシア、イエス･キリストの再臨前に大イスラエルを平和的に復興するための11 州による解決策案

ビジョンがなければ、人々は滅びる。
しかし、律法を守る者は幸いである。箴言 29:18

主を神とする国は幸いである。主がご自身の嗣業として選ばれた民は幸いである。詩篇 33:12

グレゴリオ暦 2240 年

グレゴリオ暦 2240 年はヘブライ暦 6000 年に相当し、ユダヤ教において深い神学的意義を持つ。タルムードやゾハールといった古典的なラビ文献によれば、ヘブライ暦 6000 年はメシアの到来とメシア時代の幕開けの最終期限とされている。

メシア時代：ユダヤ教の伝統的な終末論では、天地創造は 7 つの千年紀に分けられます。最初の 6 つの時代は人類の歴史を表し、7 番目の時代は「安息日」と普遍的な平和の時代です。

11 の州

イスラエル、エジプト、イラク、ヨルダン、クウェート、レバノン、パレスチナ、サウジアラビア、シリア、トルコ、キリスト教徒

･イスラエル -その日、主はアブラムと契約を結び、こう言われた。「わたしはあなたの子孫に、エジプトの川から大河ユーフラテス川に至るこの地、すなわちケニ人、ケニズ人、カドモニ人、ヒッタイト人、ペリジ人、レファイム人、アモリ人、カナン人、ギルガシ人、エブス人を与える。わたしはあなたとあなたの後の子孫に、あなたが寄留しているこの地、カナンの地すべてを永遠の所有地として与え、わたしは彼らの神となる。」 創世記 15:18-21 ; 17:8

• エジプト - ナイル川の東側の住民は、西側に移住するか、ギベオン人の例に倣うかもしれない。

• イラク - ユーフラテス川の南と西の住民は、北と東に移住するか、ギベオン人の例に倣う可能性があります。

• ヨルダン - すべての住民はシリア北東部（ユーフラテス川より北）に移住するか、ギベオン人の例に倣うことができます。

▪ クウェート - ジャフラ県北部の被災地の住民は南部へ移住するか、ギベオン人の例に倣う可能性がある。

• レバノン - すべての住民はシリア北東部（ユーフラテス川より北）に移住するか、ギベオン人の例に倣うことができる。

▪ パレスチナ - すべての住民は、ナイル川の西側、またはシリア北東部（ユーフラテス川より北）に移住することができる。 あるいはサウジアラビア南部へ移住するか、ギベオン人の例に倣うか。

• サウジアラビア - 被害を受けた北部地域の住民は南部へ移住するか、ギベオン人の例に倣う可能性がある。

• シリア - ユーフラテス川の南と西の住民は、北と東に移住するか、ギベオン人の例に倣う可能性があります。

▪ トルコ - 影響を受けた南東部の住民は北部へ移住するか、ギベオン人の例に倣う可能性がある。

▪ キリスト教徒 — 神の国の市民は、他の 10 の州とすべての国々に福音を絶えず説教し、宣言し、公表すべきである。

あなたがたは地の塩である。もし塩が味を失ったら、何によって塩味をつけることができようか。もはや何の役にも立たず、外に捨てられて人々に踏みつけられるだけである。あなたがたは世の光である。山の上にある町は隠れることができない。また、人はともしびをともして升の下に置くのではなく、燭台の上に置く。そうすれば、家の中にいるすべての人を照らす。このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせなさい。そうすれば、人々はあなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるであろう。マタイによる福音書 5:13-16

イエスは近づいて来て、彼らに言われた。「わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられている。だから、行って、あらゆる国の人々を弟子とし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」アーメン。マタイによる福音書 28:18-20

そして、まず福音はすべての国々に伝えられなければならない。マルコによる福音書 13:10

イエスは彼らに言われた。「全世界に出て行き、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。信じてバプテスマを受ける者は救われる。しかし、信じない者は裁かれる。信じる者には、次のようなしるしが伴う。わたしの名によって悪霊を追い出し、新しい言葉を語り、蛇をつかみ、たとえ毒を飲んでも害を受けず、病人に手を置けば病人は癒される。」こうして主は彼らに語り終えると、天に上げられ、神の右の座に着かれた。そして彼らは出て行き、至る所で福音を宣べ伝えた。主は彼らと共に働き、しるしをもって御言葉を確証された。アーメン。マルコによる福音書 16:15-20

そこで彼らが集まったとき、イエスに尋ねて言った。「主よ、あなたは今この時にイスラエルに王国を回復してくださるのですか。」イエスは彼らに言われた。「父がご自身の権威によって定めておられる時や時期を知ることは、あなたがたの知るところではない。しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受け、エルサレム、ユダヤ全土、サマリア、そして地の果てまで、わたしの証人となるであろう。」使徒行伝 1:6-8

それからバルナバはサウロを探しにタルソスへ出発した。そして彼を見つけると、アンティオキアへ連れて行った。こうして彼らは一年間、教会に集まり、多くの人々に教えを説いた。弟子たちはアンティオキアで初めてクリスチャンと呼ばれるようになった。（使徒行伝 11:25-26）（古代アンティオキアは、現在のトルコ南部ハタイ県アンタキヤ市に位置する。）

それゆえ、律法は私たちをキリストに導くための養育係であり、私たちが信仰によって義とされるためでした。しかし、信仰が到来した後は、私たちはもはや養育係の下にはいません。あなたがたは皆、キリスト・イエスに対する信仰によって神の子だからです。キリストに結ばれるバプテスマを受けたあなたがたは皆、キリストを着たのです。ユダヤ人もギリシャ人もなく、奴隷も自由人もなく、男も女もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。もしあなたがたがキリストのものであるなら、あなたがたはアブラハムの子孫であり、約束による相続人です。ガラテヤ 3:24-29

最後に、兄弟たちよ、主にあって、またその力強い力によって強くなりなさい。悪魔の策略に対抗できるように、神の武具を身に着けなさい。わたしたちの戦いは、血肉に対するものではなく、支配者、権威、この世の闇の支配者、天にある悪霊どもに対するものだからです。ですから、悪の日にも耐え、すべてを成し遂げて立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。それゆえ、真理を帯として腰に締め、義の胸当てを着け、平和の福音の備えをもって足を覆い、何よりも信仰の盾を取りなさい。それによって、悪しき者の燃える矢をすべて消し止めることができるでしょう。救いの兜をかぶり、御霊の剣、すなわち神の言葉を取りなさい。あらゆる祈りと願いをもって、いつも御霊によって祈り、すべての聖徒のために、絶えず祈り続けなさい。また、わたしのためにも祈りなさい。わたしが大胆に口を開いて、福音の奥義を知らせることができるように、わたしに言葉が与えられるように。わたしはその福音のために鎖につながれた使者なのですから、語るべきことを大胆に語ることができるように。エペソ 6:10-20

しかし、あなたがたは選ばれた民、王なる祭司、聖なる国民、神の所有となる民です。それは、あなたがたを闇の中からご自身の驚くべき光の中へと招いてくださった方の栄光を宣べ伝えるためです。あなたがたは以前は民ではなかったが、今は神の民であり、以前は憐れみを受けていなかったが、今は憐れみを受けているのです。（ペトロの手紙一 2:9-10）

ギベオン人の例

ヨシュア記 9 章
1 ヨルダン川のこちら側、丘陵地帯、谷間、そしてレバノンに面した大海の沿岸全域にいたすべての王たち、すなわちヒッタイト人、アモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人がこのことを聞いたとき、
2 彼らは心を一つにしてヨシュアとイスラエルと共に戦うために集まった。
3 ギベオンの住民はヨシュアがエリコとアイに対して行ったことを聞いたとき、
4 彼らは狡猾に行動し、まるで使節であるかのように振る舞い、ロバに古い袋を乗せ、古くて破れたぶどう酒の瓶を縛って、
5 そして、彼らの足には古びた靴と革張りの靴が履かれ、古い衣服を身に着けていた。彼らの食料であるパンはすべて乾いてカビが生えていた。
6 彼らはヨシュアのいるギルガルの陣営に行き、彼とイスラエルの人々に言った。「私たちは遠い国から来ました。ですから、私たちと同盟を結んでください。」
7 イスラエル人はヒビ人に言った、「もしかして、あなたがたは私たちの間に住んでいますか。どうして私たちがあなたがたと契約を結ぶことができるでしょうか。」
8 彼らはヨシュアに言った、「私たちはあなたのしもべです」。ヨシュアは彼らに言った、「あなたがたはだれですか。どこから来たのですか」。
9 彼らはイエスに言った、「あなたのしもべたちは、あなたの神、主の御名のために、はるか遠い国から参りました。私たちは主の評判と、エジプトで行われたすべてのことを聞いており、
10 そして、ヨルダン川の向こう側にいたアモリ人の二人の王、ヘシュボンの王シホンと、アシュタロトにあったバシャンの王オグに対して、彼が行ったすべてのこと。
11 そこで、私たちの長老たちとこの国の住民全員が私たちにこう言いました。「旅の食料を持って行き、彼らに会いに行き、こう言いなさい。『私たちはあなた方のしもべです。ですから、今、私たちと契約を結びなさい。』」
12 これは、私たちがあなた方のところへ行くために家を出た日に、食料として家から熱々の状態で持ってきたパンです。しかし、今、見よ、それは乾いてカビが生えています。
13 そして、私たちが詰めたこれらのぶどう酒の皮袋は新しいものでしたが、見よ、破れてしまいました。また、これらの衣服と靴は、非常に長い旅のために古びてしまいました。
14 そして彼らは食事をし、主の口に助言を求めなかった。
15 ヨシュアは彼らと和解し、彼らを生かしておくために盟約を結んだ。会衆の長たちは彼らに誓った。
16 彼らが彼らと盟約を結んでから三日後、彼らが自分たちの隣人であり、自分たちの間に住んでいることを知った。
17 イスラエルの子らは旅を続け、三日目にそれぞれの町に着いた。その町とは、ギベオン、ケフィラ、ベエロト、キルヤト･エアリムであった。

18 イスラエルの子らは彼らを打ち殺さなかった。会衆の長たちがイスラエルの神、主にかけて誓ったからである。会衆全体は長たちに対してつぶやいた。
19 しかし、すべての指導者たちは会衆全体に言った、「私たちはイスラエルの神、主にかけて彼らに誓った。だから、私たちは彼らに手出しできない。」
20 我々は彼らにそうする。彼らに誓った誓いのゆえに、我々に怒りが下らないように、彼らを生かしておく。
21 すると、君主たちは彼らに言った。「彼らを生かしておきなさい。しかし、君主たちが約束したとおり、彼らには全会衆のために薪を割り、水を汲む者とさせなさい。」
22 ヨシュアは彼らを呼び寄せ、こう言った。「なぜあなたがたは、私たちがあなた方から遠く離れていると言って私たちを欺いたのか。あなたがたは私たちの間に住んでいて。」
23 それゆえ、あなたがたは呪われている。あなたがたのうち、だれも奴隷の身分から解放されることはない。わたしの神の家のために、木を切り、水を汲む者となるのだ。
24 彼らはヨシュアに答えて言った、「あなたの神、主がそのしもべモーセに、この地をあなたに与え、この地の住民をあなたの前から滅ぼし尽くすように命じられたと、あなたのしもべたちに確かに伝えられていたので、私たちはあなたのために命の危険を感じ、このようなことをしたのです。」
25 今、見よ、私たちはあなたの御手の中にあります。あなたが私たちになさることが良いこと、正しいと思われるように、なさってください。
26 そこでイエスは彼らにそうして、イスラエルの子らの手から彼らを救い出し、彼らは彼らを殺さなかった。
27 その日、ヨシュアは彼らを会衆のため、また主の祭壇のために、主が選ばれる場所で、薪を割り水を汲む者とした。

ヨシュア記 10 章
1 さて、エルサレムの王アドニゼデクは、ヨシュアがアイを占領し、完全に滅ぼしたこと、エリコとその王にしたようにアイとその王にも同じようにしたこと、そしてギベオンの住民がイスラエルと和平を結び、彼らの間にいたことを聞きました。
2 ギベオンは王都の一つとして大都市であり、アイよりも大きく、そこに住む人々は皆強者であったため、彼らは非常に恐れた。
3 そこでエルサレムの王アドニゼデクはヘブロンの王ホハム、ヤルムトの王ピラム、ラキシュの王ヤフィア、エグロンの王デビルに使いを送り、こう言った。
4 来て、私を助けてください。ギベオンを討ちましょう。ギベオンはヨシュアとイスラエルの子らと和平を結んだからです。
5 そこで、アモリ人の五人の王、すなわちエルサレムの王、ヘブロンの王、ヤルムトの王、ラキシュの王、エグロンの王は集結し、全軍を率いてギベオンに攻め上り、ギベオンの前に陣を張り、ギベオンと戦った。
6 ギベオンの人々は、ギルガルの陣営にいるヨシュアに使いを送り、「あなたのしもべたちを見捨てないでください。急いで私たちのところに来て、私たちを救い、助けてください。山に住むアモリ人の王たちが皆、私たちに敵対して集まっているのです」と伝えた。
7 こうしてヨシュアはギルガルから上って行った。彼と、彼と共にいたすべての戦士たち、そしてすべての勇猛な戦士たちも一緒だった。
8 主はヨシュアに言われた、「彼らを恐れるな。わたしは彼らをあなたの手に渡した。彼らのうち、あなたの前に立ち向かえる者は一人もいない。」

9 そこでヨシュアは突然彼らのところへやって来て、ギルガルから夜通し上って行った。
10 主はイスラエルの前で彼らを打ち破り、ギベオンで大虐殺を行い、ベト・ホロンへ上る
道に沿って彼らを追い詰め、アゼカとマケダまで打ち破られた。
11 彼らがイスラエルの前から逃げてベト・ホロンへ下っていく途中、主は天から大きな石
を彼らの上にアゼカまで投げ落とされたので、彼らは死んだ。雹で死んだ者の数は、イス
ラエルの子らが剣で殺した者よりも多かった。
12 主がアモリ人をイスラエルの子らの前に引き渡された日に、ヨシュアは主に向かって語
り、イスラエルの民の目の前で言った。「太陽よ、ギベオンの上にとどまれ。月よ、アヤ
ロンの谷にとどまれ。」
13 太陽は止まり、月も止まった。人々が敵に復讐を果たすまで。これはヤシャルの書に記
されているではないか。こうして太陽は天の真ん中に止まり、ほぼ一日中沈まなかった。
14 その日以前にも以後にも、主が人の声に耳を傾けられたような日はなかった。主はイス
ラエルのために戦われたからである。
15 ヨシュアはイスラエル全軍と共にギルガルの陣営に戻った。
16 しかし、この五人の王は逃げ出し、マケダの洞窟に身を隠した。
17 するとヨシュアにこう告げられた。「五人の王はマケダの洞窟に隠れている。」
18 ヨシュアは言った、「洞窟の入り口に大きな石を転がし、そのそばに人を置いて守らせ
なさい。」
19 立ち止まらず、敵を追いかけ、最後尾の敵を打ち倒せ。敵が町々に入ることを許しては
ならない。主なるあなたの神が、彼らをあなたの手に渡されたからである。
20 ヨシュアとイスラエルの子らが彼らを大虐殺して滅ぼし尽くしたとき、残った者たちは
城壁のある町々に逃げ込んだ。
21 そして、民は皆、平和のうちにマケダのヨシュアの陣営に帰った。イスラエルの民の誰
に対しても、舌を向ける者はいなかった。
22 するとヨシュアは言った、「洞窟の口を開けて、その五人の王を洞窟から私のところに
連れ出せ。」
23 彼らはその通りにして、エルサレムの王、ヘブロンの王、ヤルムトの王、ラキシュの王、
エグロンの王という五人の王を洞窟からイエスのもとへ連れ出した。
24 彼らが王たちをヨシュアのもとに連れて来たとき、ヨシュアはイスラエルのすべての
人々を呼び集め、彼と共にいた兵士たちの長たちに言った。「近づいて、これらの王たち
の首に足を乗せなさい。」彼らは近づいて来て、彼らの首に足を乗せた。
25 ヨシュアは彼らに言った、「恐れるな、落胆するな、強く、勇気を持て。主はあなたが
たが戦うすべての敵にこのようにされるであろう。」
26 その後、ヨシュアは彼らを打ち殺し、五本の木に吊るした。彼らは夕方まで木に吊るさ
れたままであった。
27 日が沈む頃、ヨシュアが命じると、彼らは木からそれらを下ろし、隠してあった洞窟に
投げ込み、洞窟の入り口に大きな石を置いた。それは今日まで残っている。
28 その日、ヨシュアはマケダを攻め落とし、剣でこれを打ち、その王と、そこにいたすべ
ての人々を滅ぼし尽くした。一人も残さなかった。彼はマケダの王に対して、エリコの王
にしたのと同じようにした。
29 ヨシュアは全イスラエル人を率いてマケダを出てリブナへ行き、リブナと戦った。

30 主は、その町とその王をイスラエルの手に渡された。主は剣でその町とそこにいたすべての人々を滅ぼし、一人も残さなかった。そして、その町の王に対しても、エリコの王にしたようにされた。
31 ヨシュアはリブナからラキシュへ行き、イスラエル全軍も彼と共にラキシュを攻め、そこに陣を張って戦った。
32 主はラキシュをイスラエルの手に渡された。イスラエルは二日目にそれを占領し、リブナにしたことと同じように、剣でそれを打ち、そこにいたすべての人々を滅ぼした。
33 するとゲゼルの王ホラムがラキシュを助けるためにやって来た。ヨシュアは彼とその民を打ち破り、一人残らず滅ぼした。
34 ヨシュアはラキシュからエグロンへ行き、イスラエル全軍も彼と共に進み、エグロンを包囲して戦った。
35 その日、彼らはそれを取り、剣の刃で打ち、ラキシュにしたことと同じように、その中にいたすべての魂をその日完全に滅ぼした。
36 ヨシュアはエグロンからヘブロンへ上って行き、イスラエル全軍も彼と共にヘブロンと戦った。
37 そして彼らはそれを捕らえ、剣の刃でそれを打ち、その王と、そのすべての町と、そこに住むすべての人々を滅ぼした。エグロンに対して行ったすべてのことと同様に、彼は一人も残さず、それを完全に滅ぼし、そこに住むすべての人々を滅ぼした。
38 ヨシュアはイスラエル全軍と共にデビルに戻り、デビルと戦った。
39 彼はそれを、その王と、そのすべての町々を占領し、剣の刃でそれらを打ち、そこにいたすべての人々を滅ぼし尽くした。一人も残さなかった。ヘブロンにしたように、デビルとその王にも、リブナとその王にも同じようにした。
40 こうしてヨシュアは山地、南の地、谷、泉の地、そしてそれらの王たちを皆打ち滅ぼし、一人も残さず、イスラエルの神、主が命じられたとおり、息をする者すべてを滅ぼした。
41 ヨシュアはカデシュ・バルネアからガザまで、またゴシェン地方全体からギベオンまで彼らを打ち破った。
42 ヨシュアはこれらすべての王とその領地を一度に征服した。それはイスラエルの神、主がイスラエルのために戦われたからである。
43 ヨシュアはイスラエル全軍と共にギルガルの陣営に戻った。

異邦人の時代

彼らは剣の刃に倒れ、すべての国々に捕虜として連れて行かれるであろう。そして、異邦人の時が満ちるまで、エルサレムは異邦人によって踏みにじられるであろう。（ルカによる福音書 21:24）

「異邦人の時代」とは、ルカによる福音書 21 章 24 節にある聖書の預言的な用語です。これは、非ユダヤ人（異邦人）の国々がエルサレムと世界の政治を支配する歴史的時代を指します。学者たちは一般的に、この時代は紀元前 586 年のバビロン捕囚から始まり、キリストの再臨まで続くと考えています。

コンセプトの主要要素：

預言に由来するこの言葉は、イエスがオリーブ山での説教の中で、エルサレムが「異邦人の時が満ちるまで異邦人によって踏みにじられる」と預言した際に最も有名になった。

ダニエルの幻：この概念は、ダニエル書 2 章の預言と深く結びついており、そこには（バビロンから始まる）異邦人の世界帝国が次々と出現し、最終的には神の永遠の王国に取って代わられる様子が描かれている。

聖書学者や終末論者は、「異邦人の時代」をいくつかの神学的概念に分けて考えることが多い。

政治的支配：エルサレムが外国勢力によって支配されてきた歴史的事実。バビロニア人やローマ人から、その後の歴史上の様々な帝国に至るまで、その支配は続いてきた。

教会時代：福音のメッセージが主に非ユダヤ諸国に広められた時代。

「時」対「満ちる時」：一部の神学者は、「異邦人の時」（政治的支配の物理的な時間軸）と「異邦人の満ちる時」（ローマ人への手紙 11 章 25 節に記されている、非ユダヤ人の信者が神の救済計画に完全に霊的に集められること）を区別しています。

異邦人の満ち溢れる時

兄弟たちよ、あなたがたにこの奥義を知らないでいてほしくない。それは、あなたがたが自分を賢いと思い込むためである。異邦人の満ちる時が来るまで、イスラエルには部分的な盲目が起こっている。こうしてイスラエル全体が救われる。聖書にこう書いてあるとおりである。「シオンから救い主が現れ、ヤコブから不敬虔を取り除くであろう。」ローマ 11:25-26

「異邦人の満ちる時」とは、欽定訳聖書、特にローマ人への手紙 11 章 25 節に見られる預言的な概念です。これは、福音書が主に非ユダヤ人に宣べ伝えられる時代を指します。この時代は、神が定めた数の異邦人がキリストを信じる信仰を持つようになった時に終わり、神は再びイスラエルの救済へと預言の焦点を移されるでしょう。

コンセプトの主要要素：

主要な聖句：ローマ人への手紙 11 章 25 節で、使徒パウロは教会に「奥義」を明らかにしています。「異邦人の満ちる時が来るまで、イスラエルには部分的な盲目が起こっているのです。」これは、イスラエルの一時的な霊的な頑なさには目的があることを意味します。それは、異邦人（ユダヤ人以外の世界）が救いを受け、神の家族の一員となるための扉を開くためです。

ギリシャ語の語源：この文脈における「満ち溢れる」という言葉は、ギリシャ語の pleroma から翻訳されたもので、満ち溢れる数、完成、または豊かさを意味します。一般的には、神がこの現在の教会時代に救おうと意図している異邦人の完全な収穫を指します。

「異邦人の時代」との関連性：
この概念はルカによる福音書 21 章 24 節に関連しており、そこでイエスは「異邦人の時代」について語っています。これは、異邦人がエルサレムとユダヤ人を支配する長い期間を指します。「異邦人の満ちる時」はこの時代の終わりを意味し、その後、イスラエルの盲目が取り除かれ、ローマ人への手紙 11 章 26 節にあるように「イスラエル全体が救われる」のです。

マタイによる福音書 24 章

1 イエスは出て行って、神殿を去られた。弟子たちはイエスのところに来て、神殿の建物を見せようとした。
2 イエスは彼らに言われた。「あなたがたはこれらのことをすべて見ているのか。まことにあなたがたに言う。ここには石が一つも残らず崩されないものはないだろう。」
3 イエスがオリーブ山に座っておられると、弟子たちがひそかに近づいて来て言った。「いつこれらのことが起こるのですか。また、あなたの来臨と世の終わりのしるしは何ですか。」
4 するとイエスは答えて言われた、「だれにも惑わされないように気をつけなさい。」
5 多くの者がわたしの名によって現れ、「わたしがキリストだ」と言って、多くの人を惑わすでしょう。
6 戦争や戦争のうわさを聞くでしょう。しかし、慌ててはいけません。これらのことは必ず起こりますが、終わりはまだ来ていません。
7 国は国に、王国は王国に敵対して立ち上がり、各地で飢饉や疫病や地震が起こるであろう。
8 これらはすべて、苦しみの始まりである。
9 その時、人々はあなたたちを苦しみに遭わせるために引き渡し、あなたたちを殺すであろう。そして、あなたたちはわたしの名のゆえに、すべての国々から憎まれるであろう。
10 その時、多くの人がつまずき、互いに裏切り合い、憎み合うようになるでしょう。
11 また、多くの偽預言者が現れ、多くの人を惑わすでしょう。
12 不法がはびこるので、多くの人の愛は冷えるでしょう。
13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。
14 そして、この御国の福音は全世界に宣べ伝えられ、すべての国民への証しとなる。それから終わりが来る。
15 それゆえ、あなたがたが、預言者ダニエルによって語られた荒廃をもたらす忌まわしいものが聖所に立つのを見たら、（読む者は理解せよ。）
16 そのとき、ユダヤにいる者たちは山に逃げなさい。
17 屋上にいる者は、家から何かを取り出すために降りてはならない。
18 また、野にいる者は、着物を取りに戻ってはならない。
19 その日には、身重の女と乳飲み子を抱えている女は災いだ。
20 しかし、あなたがたの逃亡が冬でも安息日でもないように祈りなさい。

21 その時、世の初めから今までにないような、また今後もないような、大きな苦難が起こるであろう。
22 もしその日数が短くされなかったなら、だれも救われないであろう。しかし、選ばれた者たちのために、その日数は短くされるであろう。
23 そのとき、もし誰かがあなた方に、「見よ、ここにキリストがいる」とか「あそこにいる」と言っても、信じてはならない。
24 偽キリストや偽預言者が現れ、大きなしるしや不思議な業を行い、できることなら選ばれた者たちさえ惑わそうとするでしょう。
25 見よ、わたしは以前にもあなた方に告げた。
26 だから、もし彼らがあなた方に、「見よ、彼は荒野にいる」と言っても、出て行ってはならない。「見よ、彼は奥の部屋にいる」と言っても、信じてはならない。
27 稲妻が東から出て西にまで光り輝くように、人の子の到来もそのようになるでしょう。
28 死体のある所には、鷲が集まる。
29 その苦難の日々の後、すぐに太陽は暗くなり、月は光を放たず、星は天から落ち、天の力は揺り動かされるであろう。
30 そのとき、人の子のしるしが天に現れる。そのとき、地上のすべての部族は嘆き悲しみ、彼らは人の子が力と大いなる栄光を伴って天の雲に乗って来るのを見るであろう。
31 彼は大きなラッパの音とともに御使いたちを遣わし、天の果てから果てまで、四方から選ばれた者たちを集めるであろう。
32 いちじくの木のたとえから学びなさい。枝が柔らかくなり、葉が出始めると、夏が近いことがわかる。
33 同様に、あなたがたもこれらのことがすべて起こるのを見たら、それが近いこと、戸口まで来ていることを知りなさい。
34 まことに、あなたがたに言います。これらのことがすべて成就するまで、この世代は過ぎ去らないでしょう。
35 天と地は過ぎ去るが、わたしの言葉は決して過ぎ去ることはない。
36 しかし、その日、その時はだれも知らない。天の御使いたちも知らない。ただ父だけが知っておられる。
37 しかし、ノアの時代がそうであったように、人の子の到来もそのようになるでしょう。
38 洪水以前の日々と同じように、ノアが箱舟に入った日まで、人々は食べたり飲んだり、結婚したり嫁いだりしていた。
39 そして、洪水が来て彼らをすべて滅ぼすまで、彼らはそれを知らなかった。人の子の到来もそのようになるであろう。
40 その時、二人が野にいる。一人は連れて行かれ、もう一人は残される。
41 二人の女が臼を挽いていると、一人は連れて行かれ、もう一人は残される。
42 だから目を覚ましていなさい。あなたがたの主がいつ来られるか、あなたがたは知らないのだから。
43 しかし、このことを知っておきなさい。もし家の主人が泥棒がいつ来るかを知っていたなら、彼は見張っていて、家が破られるのを許さなかっただろう。
44 だから、あなたがたも準備していなさい。思いがけない時に人の子が来るからである。
45 それでは、主人がその家の者たちに時宜を得た食物を与えるために、彼らを監督する忠実で賢いしもべとは誰でしょうか。
46 主人が帰って来たときに、そのようにしているのを見つけられるしもべは幸いである。

47 まことに、あなたがたに言います。彼は自分のすべての財産を彼に管理させるでしょう。
48 しかし、もしその悪いしもべが心の中で、「わが主は来られない」と言うならば、
49 そして、同僚のしもべたちを打ち、酔っぱらいと飲食を始めるであろう。
50 そのしもべの主人は、彼が予期しない日に、また彼が知らない時に来るであろう。
51 神は彼を切り裂き、偽善者たちと同じ運命に定めるであろう。そこでは泣き叫び、歯ぎ
しりをするであろう。

マルコ 13 章

1 イエスが神殿から出て行かれると、弟子の一人がイエスに言った。「先生、ご覧くださ
い。ここにはなんと立派な石と建物が建っていることでしょう！」
2 するとイエスは答えて言われた、「これらの大きな建物を見なさい。石は一つも崩され
ずに残ることはないでしょう。」
3 イエスがオリーブ山の神殿の向かいに座っておられると、ペトロとヤコブとヨハネとア
ンデレがひそかに尋ねた。
4 これらのことはいつ起こるのでしょうか。また、これらのことがすべて成就するとき、
どのようなしるしがあるのでしょうか。
5 イエスは彼らに答えて言われた。「だれにも惑わされないように気をつけなさい。
6 多くの者がわたしの名によって現れ、「わたしがキリストだ」と言って、多くの人を惑
わすでしょう。
7 戦争や戦争のうわさを聞いても、慌ててはならない。そのようなことは必ず起こるが、
終わりはまだ来ない。
8 国は国に、王国は王国に敵対して立ち上がり、各地で地震が起こり、飢饉や災難が起こ
る。これらは苦しみの始まりである。
9 しかし、自分自身に気をつけなさい。彼らはあなたたちを議会に引き渡し、会堂で鞭打
たれるでしょう。そして、あなたたちは私のために、支配者や王たちの前に引き出され、
彼らに対する証言となるでしょう。
10 まず、福音はすべての国々に宣べ伝えられなければならない。
11 しかし、彼らがあなたたちを連れ出して引き渡すときには、何を話すべきか前もって考
えたり、計画したりしてはならない。その時与えられることを話しなさい。話すのはあな
たたちではなく、聖霊だからである。
12 兄弟は兄弟を死に渡し、父は子を死に渡し、子らは親に反逆して親を死に至らしめるで
あろう。
13 あなたがたはわたしの名のゆえにすべての人から憎まれるでしょう。しかし、最後まで
耐え忍ぶ者は救われるでしょう。
14 しかし、預言者ダニエルによって語られた荒廃をもたらす忌まわしいものが、立っては
ならない所に立っているのを見たら、（読む者は理解せよ）、ユダヤにいる者は山に逃げ
なさい。
15 屋上にいる者は、家の中に降りて行ってはならず、家の中に入って、自分の家から何か
を取り出そうとしてはならない。
16 また、畑にいる者は、着物を取りに戻るために引き返してはならない。
17 しかし、その日には、身重の女と乳飲み子を抱えている女は災いだ。
18 そして、あなたがたの逃亡が冬にならないように祈りなさい。

19 その日には、神が創造された天地創造の初めから今までになかったような苦難があり、
また今後もないであろう。
20 もし主がその日数を短くされなかったなら、だれも救われなかったでしょう。しかし、
主が選ばれた者たちのために、主はその日数を短くされたのです。
21 そのとき、もし誰かがあなた方に、「見よ、ここにキリストがいる」とか、「見よ、あ
そこにいる」と言っても、信じてはならない。
22 偽キリストや偽預言者が現れ、しるしや不思議な業を行い、できることなら選ばれた者
たちさえも惑わそうとするでしょう。
23 しかし、よく注意しなさい。見よ、わたしはあなたがたにすべてのことを前もって告げ
た。
24 しかし、その苦難の後には、太陽は暗くなり、月は光を放たず、
25 天の星は落ち、天にある力は揺り動かされるであろう。
26 そのとき、人々は人の子が大きな力と栄光を伴って雲に乗って来るのを見るでしょう。
27 そのとき、彼は御使いを遣わし、地の果てから天の果てまで、四方から選ばれた者たち
を集めるであろう。
28 いちじくの木のたとえから学びなさい。枝が柔らかくなり、葉が出始めると、夏が近い
ことがわかる。
29 同様に、あなたがたもこれらのことが起こるのを見たら、それが近いこと、戸口まで来
ていることを知りなさい。
30 まことに、あなたがたに言います。これらのことがすべて起こるまでは、この世代は過
ぎ去らないでしょう。
31 天と地は過ぎ去るが、わたしの言葉は決して過ぎ去ることはない。
32 しかし、その日、その時はだれも知らない。天にいる御使いたちも、子も知らない。た
だ父だけが知っておられる。
33 よく注意して、目を覚まして祈りなさい。いつその時が来るか、あなたがたにはわから
ないからです。
34 人の子は、遠い旅に出る人のようで、家を出て、しもべたちに権限を与え、それぞれに
仕事を与え、門番には見張りを命じた。
35 だから目を覚ましていなさい。家の主人がいつ来るか、夕方か、真夜中か、鶏が鳴く頃
か、朝か、あなたがたにはわからないからです。
36 突然やって来て、あなたが眠っているのを見つけないように。
37 そして、私があなたがたに言うことは、すべての人に言うことです。目を覚ましていな
さい。

ルカによる福音書 21 章

1 彼は目を上げて、金持ちたちが贈り物を宝物庫に投げ入れているのを見た。
2 また、イエスは、ある貧しいやもめがそこに二つのレプタを投げ入れているのを見た。
3 彼は言った、「まことにあなたがたに言いますが、この貧しいやもめは、彼ら全員より
も多く投げ入れたのです。
4 これらの人々は皆、自分の余剰の中から神への捧げ物として献げたが、この女は貧しい
中から、自分の持っているすべての生活費を献げた。

5 ある人々が神殿について、それが美しい石や贈り物で飾られていると話していたとき、
イエスは言われた。
6 あなたがたが見ているこれらの事柄については、石が一つも崩されずに残ることがない
日が来るでしょう。
7 そこで彼らはイエスに尋ねた。「先生、これらのことはいつ起こるのですか。また、こ
れらのことが起こるときには、どのようなしるしがあるのですか。」
8 そしてイエスは言われた。「だまされないように気をつけなさい。多くの者がわたしの
名によって来て、『わたしがキリストだ』と言い、時が近づいていると言うだろう。だか
ら、彼らに従ってはならない。」
9 しかし、戦争や騒乱の知らせを聞いても、恐れてはならない。これらのことは必ず起こ
るが、終わりはすぐには来ないからである。
10 するとイエスは彼らに言われた、「民族は民族に、王国は王国に敵対して立ち上がるで
あろう。
11 また、各地で大地震や飢饉、疫病が起こり、天から恐ろしい出来事や大きな徴が現れる
であろう。
12 しかし、これらすべての前に、人々はあなた方に手をかけ、迫害し、会堂や牢獄に引き
渡し、わたしの名のゆえに王や支配者の前に引き出すでしょう。
13 そしてそれはあなた方の証言となるでしょう。
14 だから、心に決めておきなさい。何と答えるべきか思い悩まないように。
15 わたしはあなたに口と知恵を与える。あなたの敵は皆、それに反論することも抵抗する
こともできない。
16 あなたがたは両親、兄弟、親族、友人によって裏切られ、あなたがたのうちの何人かは
殺されるでしょう。
17 あなたがたはわたしの名のゆえにすべての人から憎まれるでしょう。
18 しかし、あなたの髪の毛一本も失われることはない。
19 忍耐をもって、自分の魂を保ちなさい。
20 エルサレムが軍隊に囲まれているのを見たら、その滅亡が近いことを知りなさい。
21 そのとき、ユダヤにいる者は山に逃げ、その中に住んでいる者はそこから出て行き、地
方にいる者はそこに入ってはならない。
22 これらは復讐の日であり、書かれているすべてのことが成就するためである。
23 しかし、その日には、身重の女と乳飲み子を抱えている女は災いである。その地には大
きな苦難があり、この民には神の怒りが下るからである。
24 彼らは剣の刃に倒れ、すべての国々に捕虜として連れて行かれるであろう。そして、異
邦人の時が満ちるまで、エルサレムは異邦人によって踏みにじられるであろう。
25 太陽と月と星に徴が現れ、地上では諸国民が苦難と困惑に陥り、海と波が轟き、
26 人々は恐れと、地上に起こることを心配して、気を失うでしょう。天の力が揺り動かさ
れるからです。
27 そのとき、人々は人の子が力と大いなる栄光を伴って雲に乗って来るのを見るでしょう。
28 これらのことが起こり始めたら、見上げ、頭を上げなさい。あなたがたの救いが近づい
ているからです。
29 そしてイエスは彼らにたとえ話をされた。「いちじくの木と、その他すべての木々を見
なさい。

30 それらが芽吹くと、あなたがたはそれを見て、夏が間近に迫っていることを自ら知るでしょう。
31 同様に、あなたがたもこれらのことが起こるのを見たら、神の国が近づいていることを知りなさい。
32 まことに、あなたがたに言います。この世代は、すべてが成就するまでは過ぎ去らないでしょう。
33 天と地は過ぎ去るが、わたしの言葉は決して過ぎ去ることはない。
34 また、あなたがたは、食べ過ぎや泥酔、この世の生活の心配事で心が重荷になりすぎて、その日が突然あなたがたに臨まないように、自分自身に気をつけなさい。
35 それは、全地の面に住むすべての人に、罠のように臨むであろう。
36 だから、目を覚まして常に祈りなさい。そうすれば、これから起こるこれらのすべてのことから逃れ、人の子の前に立つにふさわしい者と認められるでしょう。
37 昼間は神殿で教え、夜は出て行って、オリーブ山と呼ばれる山に泊まった。
38 すると、人々は皆、朝早くから神殿に集まって、イエスの話を聞こうとした。

モーセ五書

主はアブラムに言われた。「あなたの国、あなたの親族、あなたの父の家を出て、わたしが示す地に行きなさい。わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福の源となるであろう。あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたを呪う者をわたしは呪うであろう。あなたによって、地のすべての家族は祝福されるであろう。」創世記 12:1-3

その日、主はアブラムと契約を結び、こう言われた。「わたしはあなたの子孫に、エジプトの川から大河ユーフラテス川に至るこの地、すなわちケニ人、ケニズ人、カドモニ人、ヒッタイト人、ペリジ人、レファイム人、アモリ人、カナン人、ギルガシ人、エブス人を与える。」創世記 15:18-21

わたしはあなたと、あなたの後の子孫に、あなたが寄留しているこの地、カナンの地すべてを、永遠の所有地として与えよう。そしてわたしは彼らの神となる。創世記 17:8

神はモーセに語りかけ、こう言われた。「わたしは主である。わたしはアブラハム、イサク、ヤコブに全能の神として現れたが、わたしの名であるエホバは彼らに知られていなかった。わたしはまた、彼らと契約を結び、彼らが寄留地として滞在していたカナンの地を彼らに与えることにした。」 出エジプト記 6:2-4
わたしはあなたたちの神、主である。わたしはあなたたちをエジプトの地から導き出し、カナンの地を与え、あなたたちの神となるために来た。（レビ記 25:38）

向きを変えて旅立ち、アモリ人の山地、そしてその近くの平野、丘陵、谷、南、海沿いのすべての場所、カナン人の地、レバノン、大河ユーフラテス川まで行きなさい。見よ、わたしはあなたたちの前にその地を置いた。主があなたたちの先祖アブラハム、イサク、ヤコブに、彼らとその子孫に与えると誓われた地に入って、それを所有しなさい。申命記 1:7-8

もしあなたがたが、わたしが命じるこれらの戒めをすべて忠実に守り、それを行い、主なるあなたがたの神を愛し、そのすべての道に歩み、主につき従うならば、主はあなたがたの前からこれらのすべての民を追い払い、あなたがたは自分たちよりも大いなる、より強い民を所有するであろう。あなたがたの足の裏が踏みしめるすべての場所は、あなたがたのものとなる。荒野からレバノン、ユーフラテス川から、果ての海に至るまで、あなたがたの領土となるであろう。あなたがたの前に立ち向かう者は一人もいないであろう。主なるあなたがたの神は、あなたがたが踏みしめるすべての地に、あなたがたへの恐れと畏怖を置かれるからである。主があなたがたに言われたとおりである。申命記 11:22-25

汝はアバリム山、すなわちモアブの地にあるネボ山に登り、エリコの向かい側にあるその山を見よ。そして、わたしがイスラエルの子らに所有地として与えるカナンの地を見よ。（申命記 32:49）

歴史

さて、主のしもべモーセが死んだ後、主はモーセのしもべであったヌンの子ヨシュアにこう言われた。「わたしのしもべモーセは死んだ。今、立ち上がって、あなたとこの民すべてはヨルダン川を渡り、わたしがイスラエルの子らに与える地に行きなさい。わたしがモーセに言ったとおり、あなたがたの足の裏が踏むすべての地を、わたしはあなたがたに与える。荒野とこのレバノンから大河ユーフラテス川、ヒッタイト人の地すべて、そして日の沈む方角の大海に至るまでが、あなたがたの領土となる。あなたがたの生涯の間、だれもあなたの前に立ち向かうことはできない。わたしがモーセと共にいたように、わたしはあなたと共にいる。わたしはあなたを見捨てず、あなたを見放さない。」強く、勇気を持ちなさい。あなたは、わたしが彼らの先祖に与えると誓った土地を、この民に相続地として分け与えるのだから。ヨシュア記 1:1-6

そしてこれらは、祭司エレアザルとヌンの子ヨシュア、そしてイスラエルの子らの部族の長たちが、イスラエルの子らに相続地として分配した、カナンの地におけるイスラエルの子らの相続地である。ヨシュア記 14:1

ダビデはまた、ユーフラテス川沿いの領土を回復しようとしてゾバの王であったレホブの子ハダデゼルを討ち滅ぼした。サムエル記下 8:3

主はアブラハムと結ばれた契約と、イサクに誓われた誓いを、ヤコブに律法として、イスラエルに永遠の契約として確証された。「わたしはカナンの地を、あなたがたの相続地として与える。あなたがたがまだわずかで、そこに寄留者であったとき。」歴代誌上 16:16-19

ダビデは、ユーフラテス川沿いに支配を確立しようとしてハマテに向かったゾバの王ハダレゼルを打ち破った。歴代誌上 18:3

詩

主を神とする国は幸いである。主がご自身の嗣業として選ばれた民は幸いである。詩篇 33:12

主はアブラハムとこの契約を結び、イサクに誓われた。そして、それをヤコブに律法として、イスラエルに永遠の契約として確証された。「わたしはあなたにカナンの地、あなたの相続地を与える」と言われた。彼らがまだわずかで、本当に少なく、そこに住む寄留者であったとき。詩篇 105:9-12

主は多くの国々を打ち、力ある王たちを殺された。アモリ人の王シホン、バシャンの王オグ、そしてカナンの諸王国を。主は彼らの地を、ご自分の民イスラエルに相続地として与えられた。主よ、あなたの御名はとこしえに続き、主よ、あなたの記念は代々にわたって続く。詩篇 135:10-13

預言

その日には、エッサイの根から出た者が民の旗印となり、異邦人はそれを頼りにするであろう。そして、その者の安息は栄光に満ちるであろう。 その日には、主は再び御手を伸ばし、アッシリア、エジプト、パトロス、クシュ、エラム、シナール、ハマテ、そして海の島々から、残された民の残りの者を連れ戻されるであろう。 彼は諸国民のために旗印を立て、イスラエルの追放された者たちを集め、ユダの散らされた者たちを地の四方から集めるであろう。イザヤ書 11:10-12

その日には、主は川の流れからエジプトの川までを清め、イスラエルの子らよ、あなたがたは一人一人集められるであろう。その日には、大きなラッパが鳴り響き、アッシリアの地で滅びようとしていた者たち、エジプトの地で追放されていた者たちが来て、エルサレムの聖なる山で主を礼拝するであろう。イザヤ書 27:12-13

しかし今、あなたを創造した主、ヤコブよ、あなたを形造った主、イスラエルよ、こう言われる。「恐れるな。わたしはあなたを贖い、あなたの名を呼んだ。あなたはわたしのものだ。あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたと共にいる。川の中を通るときも、水はあなたを押し流さない。火の中を歩くときも、あなたは焼かれず、炎はあなたに燃え上がらない。わたしはあなたの神、主、イスラエルの聖なる者、あなたの救い主だからだ。わたしはあなたの身代金としてエジプトを、エチオピアとセバをあなたに与えた。あなたはわたしの目に尊く、尊敬され、わたしはあなたを愛した。だから、わたしはあなたのために人々を与え、あなたの命のために民を与える。恐れるな。わたしはあなたと共にいる。わたしはあなたの子孫を東から連れて行き、西からあなたを集める。わたしは北に向かって『引き渡せ』と言う。南の方にも、引き返すな。遠くからわたしの息子たちを、地の果てからわたしの娘たちを連れて来よ。わたしの名で呼ばれる者すべてを。わたしはわたしの栄光のために彼を創造し、形造り、造り上げたのだ。イザヤ書 43:1-7

島々よ、私に耳を傾けよ。遠くの民よ、聞け。主は母の胎内から私を召し、母の腹の中から私の名を呼び出した。主は私の口を鋭い剣のようにし、御手の陰に私を隠し、磨かれた矢とし、矢筒の中に私を隠された。そして私に言われた、「イスラエルよ、あなたは私のしもべであり、私はあなたによって栄光を受ける。」そこで私は言った、「私はむなしく労苦し、力を無駄に費やした。しかし、確かに私の裁きは主と共にあり、私の働きは私の神と共にある。」今、母の胎内から私を形造り、ヤコブを再びご自身のもとに連れ戻すしもべとした主は言われる、「イスラエルが集められなくても、私は主の目に栄光を受け、私の神は私の力となる。」そして主は言われた。「あなたがわたしのしもべとなってヤコブの諸部族を興し、イスラエルの残りの民を回復させることは、取るに足りないことである。わたしはまた、あなたを異邦人の光とし、あなたが地の果てまでわたしの救いとなるようにする。」 イザヤ書 49:1-6

あなたの造り主はあなたの夫、万軍の主がその名、あなたの贖い主はイスラエルの聖なる方、全地の神と呼ばれる。主はあなたを、見捨てられ、心に悲しみを抱えた女、若き妻として召された、とあなたの神は言われる。わたしはほんのしばらくの間あなたを見捨てたが、大きな憐れみをもってあなたを集める。わたしは少しの間、怒りをもってあなたから顔を隠したが、永遠の慈しみをもってあなたを憐れむ、とあなたの贖い主である主は言われる。イザヤ書 54:5-8

イスラエルの追放された者たちを集める主なる神は言われる。「わたしは、すでに集められている者たちの他に、さらに他の者たちを彼のもとに集める。」イザヤ書 56 章 8 節

わたしの牧場の羊を滅ぼし散らす牧者たちに災いあれ、と主は言われる。それゆえ、イスラエルの神、主は、わたしの民を養う牧者たちに対してこう言われる。「あなたがたはわたしの群れを散らし、追い払い、顧みなかった。見よ、わたしはあなたがたの悪行をあなたがたに報いる、と主は言われる。わたしはわたしの群れの残りの者を、わたしが追い払ったすべての国々から集め、再び彼らの囲いに連れ戻す。彼らは子を産み、増えるであろう。わたしは彼らの上に牧者を立て、彼らを養わせる。彼らはもはや恐れることも、落胆することも、不足することもない、と主は言われる。」エレミヤ書 23:1-4

まことに、万軍の主、イスラエルの神は、主の家とユダの王とエルサレムの王の家に残っている器物について、こう言われる。「それらはバビロンに運ばれ、わたしがそれらを訪ねる日までそこにあるであろう。その日、わたしはそれらを連れ戻し、この場所に返そう。」エレミヤ書 27:21-22

わたしはあなたがたに対するわたしの計画を知っている。それは災いではなく、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためである、と主は言われる。そのとき、あなたがたはわたしを呼び求め、わたしのもとに来て祈るであろう。わたしはあなたがたに耳を傾ける。あなたがたはわたしを求め、心を尽くしてわたしを求めるならば、わたしを見いだすであろう。わたしはあなたがたに見いだされるであろう、と主は言われる。わたしはあなたがたの捕囚を解き放ち、わたしがあなたがたを追いやったすべての国々、すべての場所からあなたがたを集め、わたしがあなたがたを捕囚として連れ去った場所に、あなたがたを連れ戻すであろう、と主は言われる。エレミヤ書 29:11-14

主はこう仰せられる。「ヤコブのために喜びの歌を歌い、諸国の民の長たちの間で叫び声をあげよ。告げ知らせ、賛美し、こう言え。『主よ、あなたの民、イスラエルの残りの民を救ってください。』見よ、わたしは彼らを北の国から連れて来、地の果てから彼らを集める。盲人や足の不自由な者、妊婦や産みの苦しみの女も共に連れて来る。大勢の人々がそこへ帰る。彼らは泣きながらやって来る。わたしは嘆願しながら彼らを導く。わたしは彼らを水の流れに沿ってまっすぐな道に歩かせる。そこでは彼らはつまずかない。わたしはイスラエルの父であり、エフライムはわたしの長子だからである。」諸国の民よ、主の言葉を聞き、遠く離れた島々にそれを告げ知らせよ。「イスラエルを散らした方が、彼を集め、羊飼いが自分の群れを守るように彼を守る。」主はヤコブを贖い、彼よりも強い者の手から彼を解放された。エレミヤ書 31:7-11

それゆえ、イスラエルの神、主は、あなたがたが「剣と飢饉と疫病によって、バビロンの王の手に渡される」と言っているこの都について、こう言われる。見よ、わたしは、わたしの怒りと憤りと激しい憤りによって彼らを追いやったすべての国々から彼らを集め、この場所に連れ戻し、彼らを安全に住まわせる。彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。わたしは彼らに一つの心と一つの道を与え、彼らが永遠にわたしを畏れ、彼ら自身と彼らの子孫の益となるようにする。わたしは彼らと永遠の契約を結び、彼らに善を行うために彼らから離れず、彼らの心にわたしの畏れを植え付け、彼らがわたしから離れないようにする。まことに、わたしは彼らに善を行うことを喜び、わたしの心と魂を尽くして、彼らをこの地に確かに植え付ける。主はこう仰せられる。「わたしがこの民にこれほど多くの災いをもたらしたように、わたしは彼らに約束したすべての善をもたらすであろう。」エレミヤ書 32 章 36-42 節

再び主の言葉が私に臨み、こう言われた。「人の子よ、あなたの兄弟、あなたの同胞、あなたの親族、イスラエルの全家は、エルサレムの住民が『主から遠ざかれ。この地は我々に与えられた』と言った者たちである。それゆえ、主なる神はこう言われる。わたしは彼らを異邦人の間に遠く投げ捨て、諸国に散らしたが、彼らが来る国々で、わたしは彼らにとって小さな聖所となるであろう。それゆえ、主なる神はこう言われる。わたしはあなたたちを民の中から集め、あなたたちが散らされた国々から集め、イスラエルの地をあなたたちに与えるであろう。彼らはそこへ来て、そこから忌まわしいものすべてと忌まわしいものすべてを取り除くであろう。わたしは彼らに一つの心を与え、あなたたちのうちに新しい霊を置くであろう。わたしは彼らの肉体から石の心を取り除き、肉の心を与える。彼らはわたしの定めに従って歩み、わたしの律法を守り、それを行うであろう。彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となるであろう。エゼキエル書 11:14-20

わたしは力強い手と伸ばした腕と激しい怒りをもって、あなたがたを民の中から連れ出し、散らされた国々から集める。わたしはあなたがたを、その甘い香りと共に受け入れる。わたしがあなたがたを民の中から連れ出し、散らされた国々から集めるとき、わたしは異邦人の前で、あなたがたを通して聖なる者となる。わたしがあなたがたをイスラエルの地、すなわちわたしがあなたがたの先祖に与えるために手を上げた地へ連れて行くとき、あなたがたはわたしが主であることを知るであろう。エゼキエル書 20:34,41-42

主なる神はこう仰せられる。「わたしがイスラエルの家を、彼らが散らされている民の中から集め、異邦人の目の前で彼らを聖なる者とするとき、彼らはわたしのしもべヤコブに

与えた土地に住むであろう。彼らはそこに安全に住み、家を建て、ぶどう畑を植えるであろう。まことに、わたしが彼らを軽蔑する者たちすべてに裁きを下したとき、彼らは安心して住むであろう。そして彼らは、わたしが彼らの神、主であることを知るであろう。」エゼキエル書 28:25-26

主なる神はこう言われる。「見よ、わたしはわたしの羊を探し出し、見つけ出す。羊飼いが散らされた羊の中にいて、その群れを探し出すように、わたしもわたしの羊を探し出し、曇りの暗い日に散らされたすべての場所から彼らを救い出す。わたしは彼らを民の中から連れ出し、諸国から集め、彼らの土地に連れて行き、イスラエルの山々の川のほとりと、その国のすべての居住地で彼らを養う。わたしは彼らを良い牧草地で養い、イスラエルの高い山々に彼らの囲い地を設ける。彼らはそこで良い囲い地で横たわり、イスラエルの山々の豊かな牧草地で草を食べる。わたしはわたしの群れを養い、彼らを横たわらせる」と主なる神は言われる。わたしは失われたものを探し出し、追いやられたものを連れ戻し、傷ついたものを包帯で巻き、病んだものを強くする。しかし、肥えた者と強い者は滅ぼし、裁きをもって彼らを養う。エゼキエル書 34:11-16

それゆえ、イスラエルの家に告げよ。主なる神はこう仰せられる。「イスラエルの家よ、わたしはあなたがたのためではなく、あなたがたが行った異邦人の間で汚したわたしの聖なる名のために、これを行うのだ。わたしは、あなたがたが異邦人の間で汚したわたしの偉大な名を聖なるものとする。そして、わたしがあなたがたの目の前であなたがたの中で聖なる者とされるとき、異邦人はわたしが主であることを知るであろう」と主なる神は仰せられる。わたしはあなたがたを異邦人の中から連れ出し、すべての国々から集め、あなたがたの土地に連れて行く。そのとき、わたしはあなたがたの上に清い水を注ぎかけ、あなたがたは清くなる。わたしはあなたがたのすべての汚れと偶像からあなたがたを清める。わたしはまた、あなたがたに新しい心を与え、あなたがたの中に新しい霊を置く。わたしはあなたがたの肉体から石のような心を取り除き、肉の心を与える。わたしはわたしの霊をあなたがたのうちに置き、あなたがたをわたしの定めに従って歩ませ、わたしの裁きを守り行わせる。あなたがたはわたしがあなたがたの先祖に与えた地に住み、あなたがたはわたしの民となり、わたしはあなたがたの神となる。エゼキエル書 36:22-28

彼らにこう言いなさい。主なる神はこう仰せられる。「見よ、わたしはイスラエルの子らを、彼らが去った異邦人の中から連れ出し、四方八方から集めて、彼らの土地に連れて行く。わたしは彼らをイスラエルの山々の地で一つの国民とし、一人の王が彼らすべての王となる。彼らはもはや二つの国民ではなく、二つの王国に分かれることもない。彼らはもはや偶像や忌まわしいもの、あるいは罪によって身を汚すことはない。わたしは彼らを、彼らが罪を犯したすべての住まいから救い出し、彼らを清める。こうして彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。わたしのしもべダビデが彼らの王となり、彼らは皆一人の牧者を持つ。彼らはわたしの裁きに従って歩み、わたしの定めを守り、それを行うであろう。」彼らは、わたしがわたしのしもべヤコブに与えた地、あなたがたの先祖が住んでいた地に住むであろう。彼らとその子孫、そしてその子孫は、永遠にそこに住むであろう。わたしのしもべダビデは、永遠に彼らの君主となるであろう。さらに、わたしは彼らと平和の契約を結ぶ。それは彼らとの永遠の契約となるであろう。わたしは彼らをそこに住まわせ、彼らを増やし、わたしの聖所を彼らの真ん中に永遠に置くであろう。わたし

の幕屋も彼らと共にあるであろう。まことに、わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となるであろう。わたしの聖所が彼らの真ん中に永遠にあるとき、異邦人はわたし主がイスラエルを聖別することを知るであろう。エゼキエル書 37:21-28

それゆえ、主なる神はこう言われる。「今、わたしはヤコブの捕囚を連れ戻し、イスラエルの全家を憐れみ、わたしの聖なる名のために熱心に努める。彼らがその地に安全に住み、誰も彼らを恐れさせなかったとき、わたしに対して犯したすべての罪と恥辱を負った後、わたしが彼らを異邦の民から連れ戻し、敵の地から集め、多くの国々の目の前で彼らのうちに聖なる者とされたとき、彼らはわたしが彼らの神、主であることを知るであろう。わたしは彼らを異邦の民の中に捕囚として連れて行ったが、彼らを彼らの地に集め、もはや一人もそこに残さなかった。わたしはもはや彼らから顔を隠さない。わたしはイスラエルの家にわたしの霊を注いだからである」と主なる神は言われる。（エゼキエル書 39:25-29）

しかし、イスラエルの子らの数は海の砂のように多く、測ることも数えることもできない。そして、「あなたがたはわたしの民ではない」と言われたその場所で、「あなたがたは生ける神の子らである」と言われるようになる。そのとき、ユダの子らとイスラエルの子らは集まり、一人の頭を立て、その地から上って来る。イズレエルの日が大いなる日となるからである。ホセア書 1:10-11

イスラエルは滅びた。今や彼らは異邦人の間に、喜びのない器のようにいる。彼らはアッシリアへ上って行った。まるで野ろばが一人でいるように。エフライムは愛人を雇った。彼らは諸国民の間で雇ったが、今わたしは彼らを集め、彼らは諸侯の王の重荷のために少し悲しむであろう。ホセア書 8:8-10

ヤコブよ、わたしは必ずあなたたち全員を集め、イスラエルの残りの民を必ず集める。わたしは彼らをボズラの羊のように、囲いの中の群れのように集める。彼らは大勢の人々のために大騒ぎするであろう。ミカ書 2 章 12 節

その日、主は言われる。「わたしは足の不自由な者を集め、追放された者、わたしが苦しめた者を集める。わたしは足の不自由な者を残りの者とし、遠く追放された者を強い国民とする。主は今から永遠に、シオンの山で彼らを治められる。」ミカ書 4 章 6-7 節

シオンの娘よ、歌え。イスラエルよ、叫べ。エルサレムの娘よ、心から喜び、歓喜せよ。主はあなたの裁きを取り去り、あなたの敵を追い払われた。イスラエルの王、主はあなたの真ん中におられる。あなたはもはや災いを見ることはない。その日には、エルサレムに「恐れるな」、シオンに「手を緩めるな」と言われる。あなたの神、主はあなたの真ん中におられ、力強い。主はあなたを救い、喜びをもってあなたを喜ばれる。主は愛のうちに安らぎ、歌をもってあなたを喜ばれる。わたしは、厳粛な集会のために悲しんでいる者、あなたに属する者、その恥辱が重荷となっている者を集める。見よ、その時、わたしはあなたを苦しめる者すべてを滅ぼし、足の不自由な者を救い、追い出された者を集める。そしてわたしは、彼らが辱めを受けたすべての地で、彼らに称賛と名声を与えるであろう。その時、わたしはあなたたちを連れ戻し、あなたたちを集めるであろう。わたしはあなたたちの捕囚をあなたたちの目の前で元に戻すとき、地上のすべての民の間であなたたちを名声と称賛の的とするであろう、と主は言われる。ゼパニヤ書 3:14-20

わたしはユダの家を強くし、ヨセフの家を救い、彼らを再び元の場所へ連れ戻す。わたしは彼らを憐れむからである。彼らはわたしが彼らを捨てなかったかのようになる。わたしは彼らの神、主であり、彼らの祈りを聞くからである。エフライムの人々は勇士のようになり、その心はぶどう酒に酔ったように喜ぶであろう。まことに、彼らの子らはそれを見て喜び、その心は主にあって喜ぶであろう。わたしは彼らのために歓声を上げ、彼らを集める。わたしは彼らを贖ったからである。彼らは増えたように増えるであろう。わたしは彼らを民の中に蒔く。彼らは遠い国々でわたしを思い出し、子孫と共に暮らし、立ち返るであろう。わたしはまた、彼らをエジプトの地から連れ戻し、アッシリアから集め、ギレアデとレバノンの地へ連れて行く。彼らのための場所は見つからないであろう。ゼカリヤ書 10:6-10

新約聖書

そこで彼らが集まったとき、イエスに尋ねて言った。「主よ、あなたは今この時にイスラエルに王国を回復してくださるのですか。」イエスは彼らに言われた。「父がご自身の権威によって定めておられる時や時期を知ることは、あなたがたの知るところではない。しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受け、エルサレム、ユダヤ全土、サマリア、そして地の果てまで、わたしの証人となるであろう。」使徒行伝 1:6-8

それは、満ちる時の摂理において、天にあるものも地にあるものも、すべてをキリストにおいて一つに集めるためである。エペソ 1:10

兄弟たちよ、主イエス･キリストの来臨と、私たちが主のもとに集められることを証しして、あなたがたに懇願します。霊によっても、言葉によっても、あるいは私たちから出たという手紙によっても、キリストの日が間近に迫っているという話に惑わされて、心を動揺させたり、不安になったりしないでください。だれにも、どんな手段によっても、だまされてはなりません。なぜなら、まず背教が起こり、罪の人、すなわち滅びの子が現れるまでは、その日は来ないからです。彼は、神と呼ばれるもの、あるいは礼拝されるものすべてに敵対し、それらすべての上に自分を高め、神殿に座って、自分が神であると公言するのです。テサロニケ人への手紙第二 2:1-4

外典

そこでトビトは喜びの祈りを書き、こう言った。「永遠に生きる神はほめたたえられ、その王国はほめたたえられよ。主は鞭打ち、また憐れみをかけられる。陰府に下し、また引き上げられる。主の手から逃れる者は一人もいない。イスラエルの子らよ、異邦人の前で主を告白せよ。主は私たちを彼らの間に散らされたのだから。そこで主の偉大さを告げ知らせ、すべての生きている者の前で主をほめたたえよ。主は私たちの主であり、永遠に私たちの父なる神である。主は私たちの罪のために私たちを鞭打ち、また憐れみをかけられ、私たちを散らされたすべての国々から私たちを集められるであろう。」 トビト記 13:1-5

ヤコブのすべての部族を集め、初めからそうであったように、彼らを相続してください。主よ、御名によって呼ばれる民と、あなたが長子と名付けられたイスラエルに憐れみをかけてください。シラ書 36:11-12

エルサレムよ、東の方角を見渡して、神からあなたに来る喜びを見よ。見よ、あなたが送り出したあなたの息子たちが、聖なる方の言葉によって東から西へと集められ、神の栄光を喜びながらやって来る。バルク書 4:36-37

エルサレムよ、立ち上がれ。高所に立ち、東の方を見渡せ。見よ、聖なる御言葉によって西から東へと集められた汝の子らが、神を思い起こして喜んでいる。バルク書 5:5

祈りはこうであった。「主よ、主なる神よ、万物の創造主よ、畏れ多く、力強く、正しく、慈悲深く、唯一の恵み深い王よ、万物の唯一の与え主よ、唯一の正義、全能、永遠なる方よ、イスラエルをあらゆる苦難から救い出し、先祖を選び、彼らを聖別された方よ。あなたの民イスラエルのために捧げられるいけにえを受け入れ、あなたの分を守り、それを聖別してください。私たちから散らされた者たちを集め、異邦人の間で仕えている者たちを救い出し、蔑まれ、忌み嫌われている者たちに目を留め、異邦人にあなたが私たちの神であることを知らせてください。」マカバイ記第二 1:24-27

また、私たちは、すべての民を救い出し、律法の中で約束されたとおり、彼らに相続地と王国と祭司職と聖所を与えられた神が、まもなく私たちを憐れみ、天の下のすべての地から私たちを聖なる場所に集めてくださることを望みます。なぜなら、神は私たちを大きな苦難から救い出し、その場所を清めてくださったからです。マカバイ記第二 2:17-18

ヤシャルとヨベル書

アブラムがカナンの地に住み始めて 15 年目、すなわちアブラムの生涯 70 年目のこと、主はその年にアブラムに現れて言われた。「わたしは、あなたをウル・カスディムから連れ出し、この地を相続地として与える主である。今、わたしの前に歩み、完全であり、わたしの戒めを守りなさい。わたしはあなたとあなたの子孫に、ミツライム川から大河ユーフラテス川に至るまでのこの地を相続地として与える。」ヤシェル書 13:17-18
エサウは立ち上がり、ヤコブのもとに戻り、イシュマエルの子ネバヨトが勧めたことをすべて行った。エサウはイサクが残したすべての富、すなわち魂、家畜、牛、財産、そしてすべての富を奪い取り、弟ヤコブには何も与えなかった。ヤコブはエジプトの川からユーフラテス川に至るカナンの地すべてを奪い取り、それを永遠の所有地として、また自分の子孫と子孫のために永遠に所有した。ヤコブは書物にこう記した。「カナンの地、そしてヒッタイト人、ヒビ人、エブス人、アモリ人、ペリジ人、ゲルガシュ人のすべての町々、エジプトの川からユーフラテス川に至る七つの民族すべて。」ヤシェル書 47:24,27

モーセの死後、主はヌンの子ヨシュアに言われた。「立ち上がってヨルダン川を渡り、わたしがイスラエルの子らに与えた地に行きなさい。そして、イスラエルの子らにその地を相続させなさい。あなたがたの足の裏が踏みしめるすべての場所は、あなたがたのものとなる。レバノンの荒野から大河ペラト川までが、あなたがたの境界となる。」ヤシェル書 88:1-3

その後、彼らは異邦人の中から心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くしてわたしに立ち返るであろう。わたしは彼らをすべての異邦人の中から集め、彼らはわたしを求めるであろう。彼らが心を尽くし、魂を尽くしてわたしを求めるとき、わたしは彼らに見いだされるであろう。ヨベル書 1:14

そして主は彼に言われた。「わたしはあなたをカルデアのウルから連れ出し、カナンの地をあなたに与えて、それを永遠に所有させる主である。わたしはあなたとあなたの後の子孫の神となる。」その日、主はアブラムと契約を結び、こう言われた。「わたしはあなたの子孫に、エジプトの川から大河ユーフラテス川に至るこの地、ケニ人、ケニズ人、カドモニ人、ペリジ人、レファイム人、ファコ人、ヒビ人、アモリ人、カナン人、ギルガシ人、エブス人を与える。」ヨベル書 14:7,18

わたしはあなたとあなたの子孫に、あなたが寄留していた地、カナンの地を与え、あなたがそれを永遠に所有できるようにする。そしてわたしは彼らの神となる。ヨベル書 15:10

忘れられたエデンの書

そして私は父ヤコブに言った。「主はあなたを通してカナンの民を滅ぼし、彼らの土地をあなたとあなたの子孫に与えられるでしょう。」 レビの遺訓 3:10

そしてこれらのことの後、義の光である主ご自身（イエス･キリスト）があなたたちのもとに現れ、あなたたちは自分たちの土地に帰るであろう。そしてあなたたちはエルサレムで、主の御名のために主を見るであろう。しかし、あなたたちは再び悪行によって主を怒らせ、あなたたちは主によって滅びの時まで捨て去られるであろう。ゼブルンの遺訓 2:32-35

あなたがたは数が少なくなり、衰え果てた後、立ち返り、主なるあなたがたの神を認めるならば、主は豊かな憐れみによって、あなたがたを故郷の地に連れ戻されるであろう。しかし、彼らが先祖の地に戻った後、再び主を忘れ、不敬虔になるであろう。主は彼らを全地の面に散らされるであろう。それは、遠くにいる者にも近くにいる者にも、義を行い、憐れみを行う人、主（イエス･キリスト）の憐れみが来るまでである。ナフタリの遺訓 1:30-32

福音 — イエス･キリストだけが救う

彼女は男の子を産むでしょう。その子の名をイエスと名付けなさい。彼は自分の民を罪から救うからです。（マタイによる福音書 1:21）

神は、実に、世を深く愛されたので、独り子を与えられた。それは、御子を信じる者が一人も滅びることなく、永遠の命を得るためである。（ヨハネによる福音書 3:16）

イエスは彼に言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことはできない。」ヨハネによる福音書 14:6

また、他の誰にも救いはありません。天の下で、私たちが救われるべき名は、この方のほかには人々の間に与えられていないからです。（使徒行伝 4:12）

わたしがあなたがたに伝えた最も大切なことは、わたし自身も受けたことですが、すなわち、キリストは聖書に書いてあるとおり、わたしたちの罪のために死なれ、葬られ、聖書に書いてあるとおり、三日目に復活されたということです。（コリント人への手紙第一 15:3-4）

私たちはキリストにあって、その血によって贖いを受け、罪の赦しを得ています。これは、神の豊かな恵みによるものです。（エペソ 1:7）

私たちが完全に理解しなければならない 4 つの真実があります。

1. 神はあなたをとても愛しています。

彼はあなたに天国で彼と共に永遠の命を得てほしいと願っています。
神は、実に、世を深く愛されたので、独り子を与えられた。それは、御子を信じる者が一人も滅びることなく、永遠の命を得るためである。（ヨハネによる福音書 3:16）

彼はあなたが彼と共に豊かで意義深い人生を送ることを望んでいます。
盗人は盗み、殺し、滅ぼすために来る。わたしが来たのは、羊が命を得、しかも豊かに得るためである。ヨハネによる福音書 10:10

それにもかかわらず、多くの人々は有意義な人生を送ることができず、永遠の命があるかどうかも確信が持てない。なぜなら…

2. 人間は生まれながらにして罪深い。だからこそ、神から引き離されているのだ。

すべての人は罪を犯した。
すべての人は罪を犯し、神の栄光に達することができない。（ローマ 3:23）
金銭を愛することは、あらゆる悪の根源である。（テモテへの手紙第一 6:10）

罪の報酬は死である。
罪の報酬は死である…ローマ人への手紙 6:23

聖書には 2 種類の死が規定されている。
▪肉体的死
人間には一度死ぬことが定められており、その後には裁きがある。（ヘブライ人への手紙 9:27）
▪霊的な死、または地獄での神からの永遠の分離

しかし、臆病な者、不信仰な者、忌まわしい者、殺人者、淫行を行う者、魔術を行う者、偶像礼拝者、そしてすべての偽り者は、火と硫黄の燃える湖に投げ込まれる。これが第二の死である。（ヨハネの黙示録 21:8）

人間が罪によって神から引き離されているとしたら、この問題の解決策は何でしょうか？私たちはしばしば、宗教、善行、礼儀作法などが解決策だと考えがちです。しかし、神からの解決策はただ一つしかありません。

3. イエス・キリストこそが天国への唯一の道である。

これは神の宣言である。
イエスは彼に言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことはできない。」ヨハネによる福音書 14:6

彼は私たちの罪に対する罰を完全に受けてくれた。
キリストもまた、罪のために一度苦しみを受けられました。義なる方が不義なる者のために苦しみを受けられたのは、私たちを神のもとへ導くためでした。キリストは肉においては死に渡されましたが、霊においては生かされたのです。（ペテロの手紙第一 3:18）
私たちはキリストにあって、その血によって贖いを受け、罪の赦しを得ています。これは、神の豊かな恵みによるものです。（エペソ 1:7）

彼は永遠の命の約束を受けている。
御子を信じる者は永遠の命を得る。御子を信じない者は命を見ることがなく、神の怒りがその上にとどまる。ヨハネによる福音書 3:36
罪の報酬は死であるが、神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命である。（ローマ 6:23）

4. 救われるためには、イエス・キリストを信じる必要があります。

私たちの救いは、イエス・キリストへの信仰を通して与えられる神の恵みによるものです。
あなたがたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。それはあなたがた自身によるものではなく、神からの賜物です。行いによるのではありません。だれも誇ることがないようにするためです。（エペソ 2:8-9）

主の名を呼び求める者は誰でも救われる。（ローマ人への手紙 10:13）

罪人の祈り
信仰をもってこれを祈りましょう。
主イエスよ、私を愛してくださり、心から感謝いたします。私は罪人であることを告白し、あなたの赦しを求めます。私のすべての罪を贖うために血を流してくださったことを感謝いたします。十字架上での死、埋葬、そして復活に感謝いたします。私はあなたを私の主、救い主として信じます。永遠の命というあなたの賜物を受け入れ、私の人生をあなたに委

ねます。あなたのすべての戒めに従い、あなたの御心にかなう者となれるよう助けてください。アーメン。

あなたがイエス･キリストを信じたなら、次のようなことがあなたに起こっています。
･今、あなたは神と共に永遠の命を得ました。
わたしを遣わされた方の御心は、御子を見て信じる者は皆、永遠の命を得ること、そしてわたしは終わりの日にその人をよみがえらせることである。（ヨハネによる福音書 6:40）
• あなたのすべての罪は償われ、赦されました。（過去、現在、未来）
しかし、この方は、罪のために一度のいけにえを永遠にささげた後、神の右の座に着かれた。（ヘブライ人への手紙 10:12）
あなたは神の目には新しい創造物です。それはあなたの新しい人生の始まりです。
ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しい創造物です。古いものは過ぎ去り、見よ、すべてが新しくなりました。（コリント第二 5:17）
あなたは神の子となったのです。
しかし、彼を受け入れた者、すなわち彼の名を信じる者には、神の子となる特権をお与えになった。（ヨハネ 1:12）

善行は私たちが救われるための手段ではなく、私たちの救いの証、あるいは実りである。
私たちは神の作品であり、キリスト･イエスにあって良い行いをするために創造されたのです。神は、私たちがその良い行いをするように、前もって定めておられたのです。（エペソ 2:10）
神のお恵みがありますように！

ベサニーのマリアを偲ぶ記念碑

ベタニアで、らい病を患うシモンの家で食事をしていたとき、一人の女が、非常に高価なナルドの香油の入った雪花石膏の壺を持ってやって来て、その壺を割って、香油をイエスの頭に注いだ。すると、心の中で憤慨した者たちが、「なぜ香油を無駄にしたのか。三百デナリオン以上で売って、貧しい人々に施すことができたのに」と言って、彼女を非難した。イエスは言われた。「彼女を放っておきなさい。なぜ彼女を困らせるのか。彼女は私に良いことをしてくれたのだ。貧しい人々はいつもあなたがたのそばにいる。あなたがたはいつでも彼らに善いことをすることができる。しかし、私はいつもあなたがたのそばにいるわけではない。彼女はできる限りのことをした。彼女は私の葬りのために、前もって私の体に香油を塗るために来たのだ。」まことに、あなたがたに告げます。この福音が全世界のどこで宣べ伝えられようとも、彼女がしたこともまた、彼女を記念するために語り伝えられるでしょう。マルコによる福音書 14:3-9